

2012年度 情報理工学系研究科 海外交流派遣プログラムのご案内

情報理工学系研究科では、教育・研究におけるグローバル化へ対応するため、海外の諸大学と国際学术交流協定の締結を推進しています。2007年から交流協定校へ大学院生を派遣するプログラムを開始し、今年で6年目を迎えました。今年度は交流協定校に限定せず、下記の要領で、海外へ派遣する学生を募集します。多くの大学院生のご応募をお待ちしています。

記

1. 募集内容

- ・応募資格：情報理工学系研究科に大学院生として在籍している者。
- ・派遣目的：(1) 国際学术交流協定大学での学術研究交流。
情報理工学系研究科が交流協定を結んでいる大学は、授業料不徴収となる場合がある。
協定校一覧：http://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/inter_ex/ist_inter.shtml
- (2) (1) 以外の海外の大学・研究機関、企業等での学術研究交流またはインターンシップ。
- (3) 国際会議発表等の学術交流
※上記のうち(1) (2) を (3)に優先して考慮する。(3)の場合は同時に大学・研究機関を訪問し学術交流(武者修行)を行ってくることを推奨する。
- ・派遣期間：10～14日間程度(それ以外の場合は、事前にご相談ください)
※2013年2月10日までに帰国可能な旅程であること。
- ・募集期間：2012年4月1日～12月末
- ・選抜方法：提出書類一式をもとに書類選考。場合によっては、面接あり。
- ・支援内容：プログラム旅費規程に準じて、旅費、滞在費(宿泊費・日当)を支給する。
滞在費支給額は、東京大学旅費規定より少額となる。
その他の必要経費は自己負担とする。
※他の支援を受けている場合、重複支給を避けるため支援内容を記述すること。
- ・派遣実施：採択された者は、計画に基づいて研究を実施する。受入機関との連絡、Visa申請、航空券手配、宿泊先手配などは、各自で行なう。
派遣終了後1ヶ月以内に、英語で「報告書(Form 4*, A4サイズ5枚)」を作成し、「研究成果報告書(Form 3*)」とともに国際交流室に提出すること。

2. 応募方法

- (1) 必要書類：書式はURL (<http://www.i.u-tokyo.ac.jp/dispatch/>) 参照のこと。
 - ・計画調書 (Form 1*)
 - ・経歴調書 (Form 2*)：社会人学生の場合のみ提出。
 - ・TOEFL、TOEICなどのスコアコピー
(提出できない場合は、指導教員欄に、「英語力について問題ない」ことを記載してもらうこと。)
 - ・旅行業者作成の旅程表・見積書。(確定した旅程表でなくても可。)
- (1) 応募締切日
毎月末に締切、翌月に決定。遅くとも出発日の2ヶ月前までに応募書類を提出のこと。
※最終締切：2012年12月末
- (2) 提出先
必要書類を揃えて、情報理工学系研究科の国際交流室(本郷キャンパス 工学部8号館1階)へ提出。

3. その他

- ・本プログラムで派遣された学生のうち希望者は、インターンシップに関する単位(情報理工学特別実習等)を申請することができる。帰国後に各自で申請手続きを行い、研究科において適当と判断した場合に単位が認定される。詳細は、学務課大学院チームまたは国際交流室へ。

【提出先 & 問合せ先】 情報理工学系研究科 国際交流室(本郷キャンパス 工学部8号館1階)
E-mail：ist_haken@adm.i.u-tokyo.ac.jp